

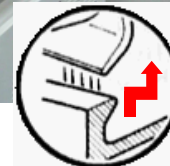
フローズンマシン 毎日の洗浄手順

～用意するもの～

- ・ボウル(フローズン抜き用)
- ・水差し ・バケツ
- ・食品用グリス



フローズンをとりきった後、
電源を切り、ぬるま湯または
水などで通し洗いをします。



ボウルのノズル側を持ち上げ、
固定用フックを外してから
ボウルを水平方向に引き出し
ます。



スパイラル



オーガー

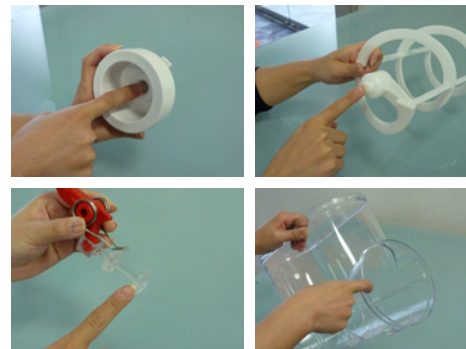
スパイラルを引き抜いてから
オーガーを両手でゆっくりと
引き抜いて下さい。
(強力マグネットが付いています)



一番奥にあるパッキンも忘れず
に外し、本体・筒などは
中性洗剤やアルコールなどで
本体にかからないように洗浄
します。
※洗剤は薄めてご使用下さい。

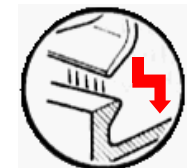
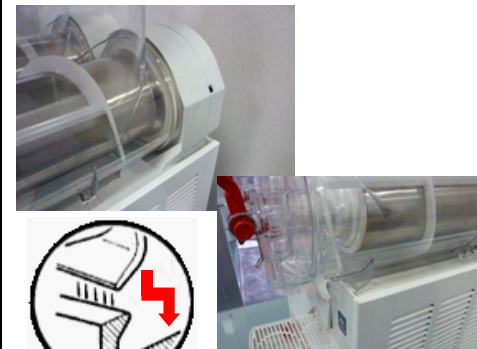


分解した部品を洗浄後、流水
ですすぎ、洗浄液をしっかりと
洗い流して下さい。
(パーツは全部で6点です。)



組み立ての前に写真の箇所へ
食品用グリスを薄く塗布
します。

※部品磨耗防止・異音防止の為。

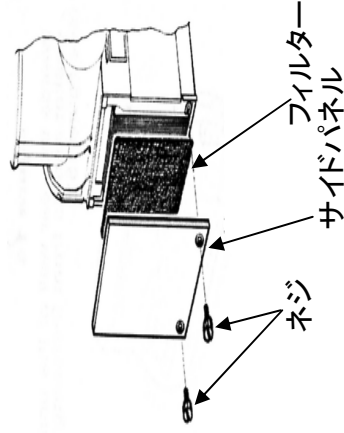


分解と逆にパッキン・ハネ・
ボウルの順に取り付けます。
固定用フックはしっかりと取り
付けて下さい。

これで洗浄完了です。

フィルター取外し手順

- ① 製品正面より右側にフィルターがあります。
 - ② サイドパネル下側のネジを2個外してください。
 - ③ サイドパネルを外してください。
- ※ 板金部品の端が鋭くなっている場合がありますので、必ず手袋をはめて下さい。



*mini-1は背面にあります。

ご使用中

◎フローズンをご使用の場合(冷却スイッチⅡ側)

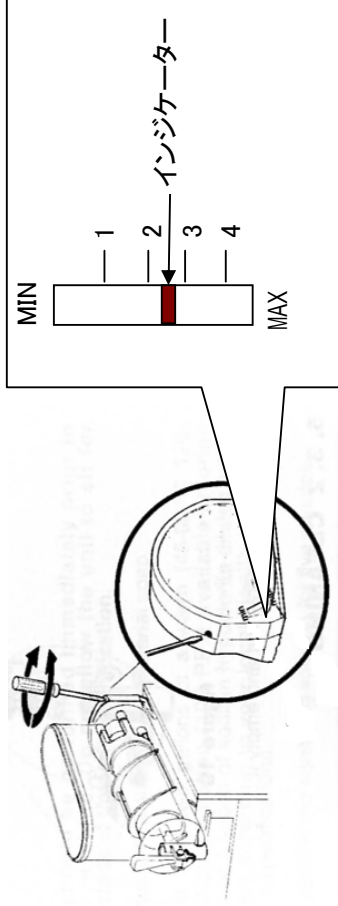
1.フローズンの抽出

ハンドルを手前に倒しますと、ノズルよりフローズンが出てきますので適量をカップに出してください。

2.フローズンの粘度調整

製品背面(下図)でマイナスタライバーにて調整が出来ます。

- 粘度を高くする場合: 右回り(時計回り)に回すと粘度が高くなります。(インジケーターの位置を下げる)
- 粘度を低くする場合: 左回り(反時計回り)に回すと粘度が低くなります。(インジケーターの位置を上げる)



注) 粘度の初期設定は

工場出荷時に設定してあります。

3.フローズン冷却時間の短縮

フローズンが冷えやすくなる為のヒント

- ・フローズンマシンに投入する前に、フローズンの原料を予め冷やしておく効果があります。

※フローズンを冷やして固める為の時間は、周囲温度、フローズンの初期温度、フローズンの糖度、設定粘度などの多くの要因で変わりますので、ご了承下さい。

4.ご使用中の注意

- ボウル内に凍結したフローズンがある場合には、冷却スイッチをOFFにしないで下さい。

冷却スイッチをOFFにするとかくはんが停止して、フローズンが氷のブロックになる場合があります、この時に再びかくはんさせるとモーターが損傷する恐れがあります、この場合にはフローズンが溶けるまで冷却スイッチをONにしないで下さい。

- フローズンの残量が2リットル以下(シリンドラーが半分フローズンで隠れる程度)にならないように、原料を都度追加下さい。